



Nursing (看護)
Assistance (支援)
Care (介護)

ナツクだより 第六十号



新春を迎え

理事長 高相和彦

あけましておめでとうございます。



利用者様、ご家族様、ボランティアなどご協力くださいました皆様、そして旧一年を頑張り抜いた職員一同に輝かしい一年が訪れたことをお祝い申し上げます。

昨年は、今まで経験したことのない激しい夏の酷暑と、頻発する竜巻、秋には台風による豪雨災害などを経験し、年々地球上も住みにくさが増しているような思いにとられる一年でした。このような環境の中でも人間はそれぞれの生活を維持するための工夫をこらし、粘り強く生き抜いております。

NAC湯村においても、一時期皮膚感染症で多くの利用者様にご迷惑をおかけしました。幸い最小限の波及で済みましたが、感染症の怖さを改めて思い知るに至りました。本年はこの轍を踏まず、今まで以上に環境に配慮し、安心で明るく、日々過ごしやすい施設であることを目指して

職員一同気を引き締め邁進する所存です。本年が幸せ多い年であることを念じ、年頭のご挨拶といたします。

◆ボランティアの皆様へ感謝♪

「千塚小学校五年生との交流会」



班ごとに考えてきて下さったゲームや折り紙、風船バレー等をして楽しみました。ひ孫と接するよう目と目を細めて会話を楽しまれ、



笑いの絶えないとても和やかな時間を過ごしました。

福祉の分野で活躍される将来の担い手が子供達の中にもいるかもしれませんね！

「千塚文化協会合唱部」



総勢二十五名の混声合唱をご披露いただき深みのある美しいハーモニに感動いたしました。「小さい秋」を始め、皆さんお馴染みの唱歌・童謡など全十曲を合唱部の皆さんと共に歌って楽し

発行所／介護老人保健施設 NAC湯村

甲府市湯村三十五番十三

〇五五(二五三)二二〇〇

rouken@nac-yumura.com

http://www.nac-yumura.com/

い時間を過ごしました。皆さんの豊かな歌声、声量につられて、利用者さんも大きな声で歌うことができました。

「空野晋平様歌謡ショー」



懐メロ歌謡を戦前・戦中・戦後に分けて、昔のお話を織り交ぜながら全九曲を熱唱して下さいました。『懐かしいね〜思ひ出すね〜』と懐かしい青春時代に思いを馳せているようでした。曲に合わせて手拍子をしたり一緒に歌ったりして、とても有意義な温かい時間を過ごすことができました。



「山梨ハーモニカ*アカデミー」



アカデミー七名による素晴らしいハーモニカ演奏会が開かれました。懐かしい音色で「荒城の月」等の名曲を演奏して下さった後、唱歌や懐メロを歌い「きよしのズンドコ節」の踊りをご指導いただきました。素敵な和音に感銘を受けながら、ノリノリの踊りも楽しんで心も体も温まりました。

◆芋掘りと焼き芋会く晩秋を味わうく

晩秋の候、錦織りなす湯村山の紅葉を楽しみながら、炭火で温めたアツアツの焼き芋をおやつで召し上がって頂きました。



一所懸命に収穫していただいた薩摩芋のお味も上々！焚火で焼いた昔の思い出を懐かしく語らいながら、収穫の喜びと秋の味覚を堪能しました。

◆枯露柿作り

この季節ならではの甲州の風物詩となっている枯露柿作り***軒先に吊るして粉が吹いてくるのを「まだか、まだか」と心待ちにするのも



楽しみのひとつです。今回は、包丁の代わりにピーラーを使って、綺麗に丁寧に皮むきをすることができました☆

◆まめぶ汁に挑戦！く昼食にてく

朝ドラ『あまちゃん』でお馴染みの岩手県久慈市の郷土料理『まめぶ汁』作りを冬の季節活動で行いました。白玉の中にクルミと黒砂糖を入れて根菜汁で煮た料理のことで、弾力ある白玉の中にクルミの香ばしさと甘味も加わり、醤油味のスープと相まって絶妙なおいし



さでした。皆さん未知の味に期待しながら、上手に「まめぶ」を丸めたり材料を切ったりして楽しく料理していました。

◆委員会だよりく食支援委員会く

当委員会では、栄養部門と歯科部門が連携し食生活のことへのこだわりを追究しています。食べる楽しみとしては、様々な季節行事食の実施やおやつレクリエーションを企画しています。(左写真く)

歯科部門の今年度の課題は「口臭」です。口臭の原因の一つとして、口腔内の状態が挙げられます。口の中をより良くする為に、フロアのスタッフは日々の口腔ケアに取り組んでいます。



くオムレットく



くおはぎく



く生八つ橋く



◆老健大会にて演題を発表

第十六回山梨県介護老人保健施設大会が昨年十一月六日におこなわれ、当施設からは以下の三演題が発表されました。

『足湯だよ！全員集合！』

*足湯による下肢浮腫及び夜間不眠の解消

「介護士 長田華菜」

『在宅生活の強い味方になるために』

*訪問リハビリテーションの経験から

「作業療法士 大久保寿美」

『在宅復帰に対する家族の意識について』

*入所者の家族へのアンケート調査より

「支援相談員 内藤克博」

◆温かいお心遣いをく

くありがとうございますく



手編みの帽子：小田切治子様



菊鉢観賞：保坂良彦様

編集後記

恒例の柚子湯を昨年暮れに行いました。『冬至に柚子湯に入れば風邪を引かない』とは江戸時代からの習慣だそうです。「湯治」と「冬至」の語呂合わせとも言われていますが、現代科学においても血行促進や神経痛、腰痛などを和らげる効果があり、



ひび・あかぎれにも効くそうです。又、皮の芳香油が湯冷めを防ぐとされています。当施設は「源泉かけ流し温泉」でもありますので効果倍増です！厳冬の季節、柚子茶を飲んで柚子湯に浸かり体を温めては如何でしょうか。